

054-EMD	01	01版
2006年4月21日作成		

株式会社 林環境

環境活動レポート

2005年度版

目次

1. まえがき	P3
2. 会社概要	P3
3. 運用組織	P3
4. 環境への負荷実績及び取組状況	P4
5. 環境方針	P6
6. 環境目標・環境活動計画とその達成状況	P6
7. 環境活動の取組結果に対する評価	P11
8. 環境関連法規の遵守状況	P13

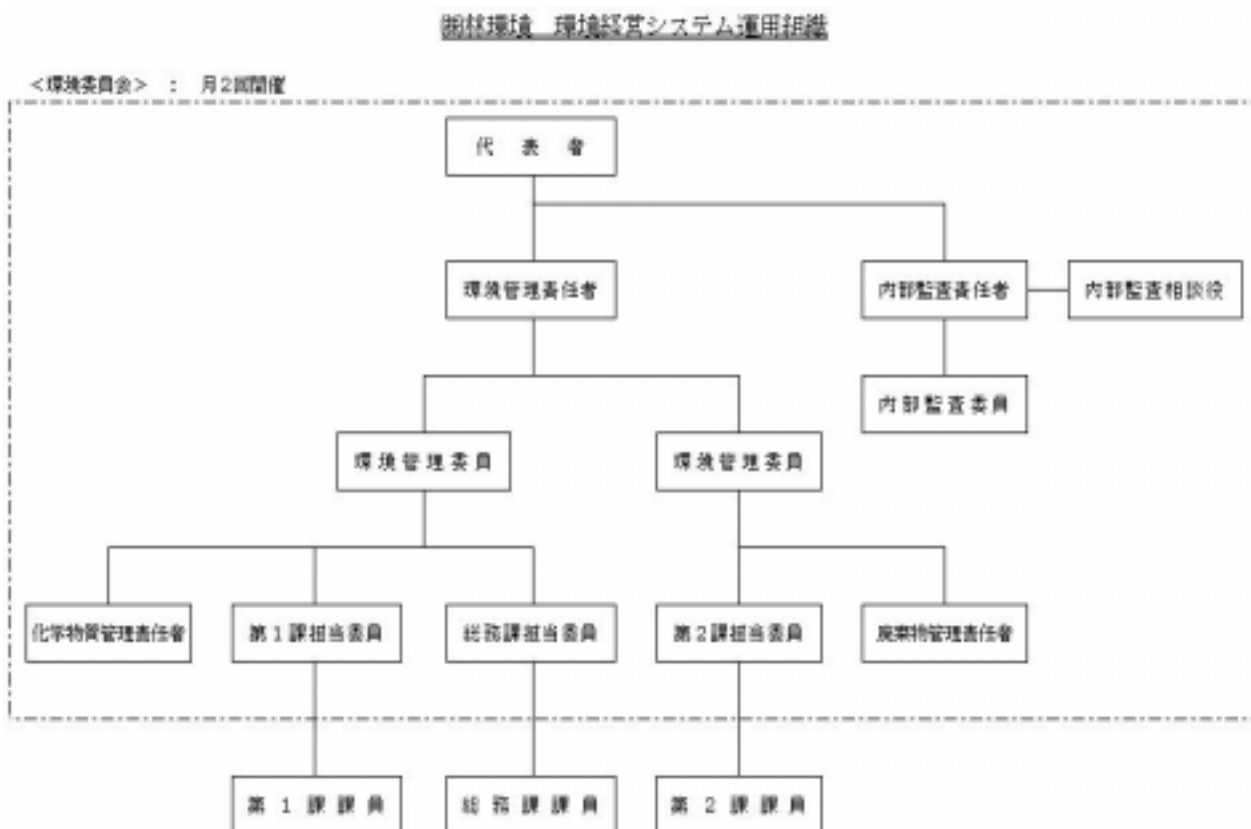
1. まえがき

当社は、一般廃棄物の収集・運搬(ゴミ・浄化槽清掃)及び給水・排水の維持管理清掃を事業としております。今までも地球温暖化対策や循環型社会への取組を行なってきましたが、今回「環境に優しい企業づくり」を目標にこのエコアクション21の認証・登録を受けるに至りました。

2. 会社概要

会社名 : 株式会社 林環境
所在地 : 群馬県桐生市東7丁目5番30号
代表者 : 代表取締役 林 整
環境管理責任者 : (正)林 竹志、(副)林 万見子
TEL : 0277-44-6320
設立 : 昭和23年1月7日
資本金 : 1,000万円
業種 : 一般廃棄物収集運搬業、浄化槽管理・清掃業及びビルメンテナンス業
従業員数 : 29人

3. 運用組織

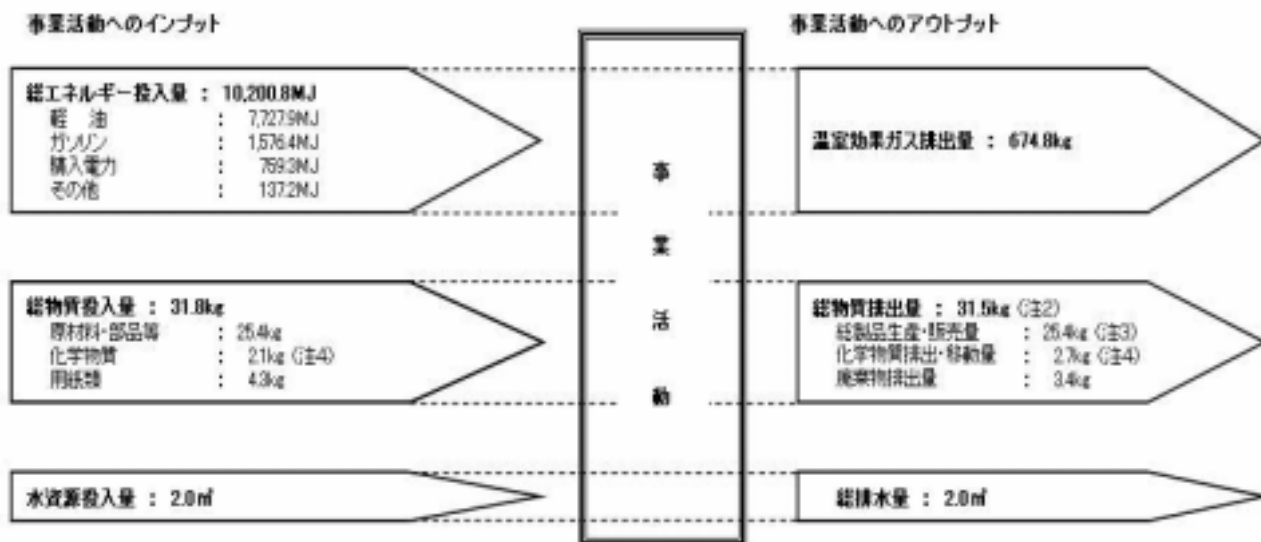


4. 環境への負荷実績及び取組状況

4.1 環境への負荷実績

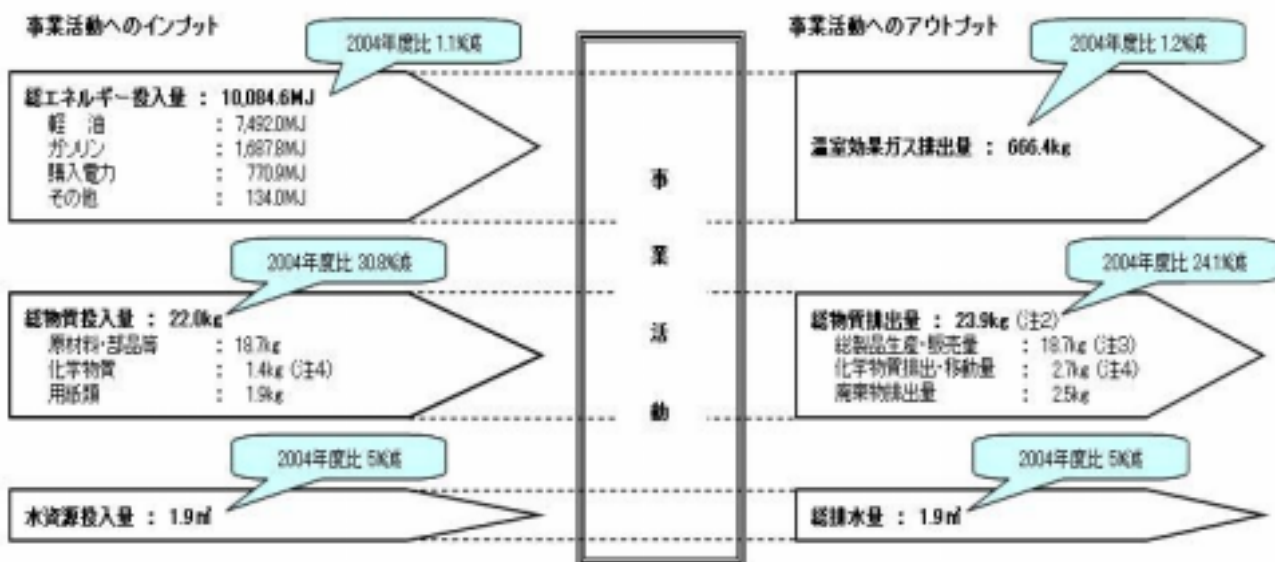
2004年度の環境への負荷実績は以下に示した通りですが、4月～7月までの実績値はその他の月の実績値の合計から1ヶ月分を算出し、その算出した数値を使用しています。また、2005年度の環境への負荷実績も合わせて以下に示しました。

2004年度 環境への負荷実績



- 注1 : 図中の数値は売上高100万円当たりのものです。
 注2 : 総物質排出量には、廃棄物として排出される用紙類以外の用紙類は含まれていません。
 注3 : 総物質投入量の原材料・部品等の重量を、そのまま総物質排出量の総製品生産・販売量の重量としています。
 注4 : 浄化槽点検以外に使用している化学物質は含まれていません。

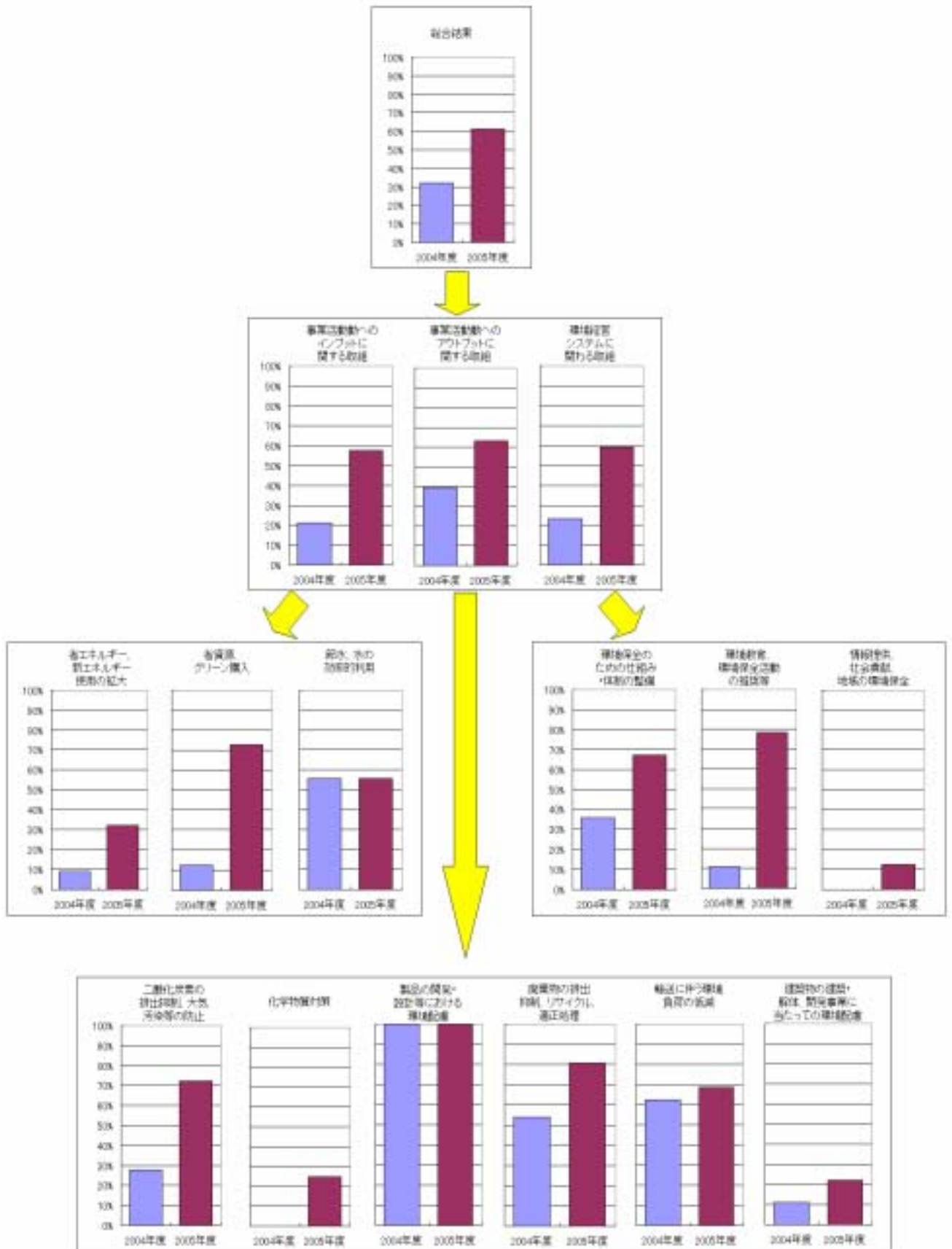
2005年度 環境への負荷実績



- 注1 : 図中の数値は売上高100万円当たりのものです。
 注2 : 総物質排出量には、廃棄物として排出される用紙類以外の用紙類は含まれていません。
 注3 : 総物質投入量の原材料・部品等の重量を、そのまま総物質排出量の総製品生産・販売量の重量としています。
 注4 : 浄化槽点検以外に使用している化学物質は含まれていません。

4.2 環境への取組状況

2004年度及び2005年度の環境への取組状況を以下に示しました。



5. 環境方針

当社では、前で示した2004年度の環境への負荷実績および取組状況の結果を基にして、以下のような環境方針を作成し、環境保全の重要性を確認し、日常生活における環境保全活動に対応することが可能な環境社員の育成に注力し、地域社会の発展に貢献することを目指すこととしました。

<p>株式会社 林環境</p> <p>環境方針</p>
<p>1. 地球温暖化・大気汚染を防止するため、輸送の効率化、エコドライブの実践を推進し、環境保全のための継続的な改善を図ります。</p> <p>1. 当社の活動が環境に及ぼす要素・要因について影響評価を行なった結果をもとに環境汚染の予防・改善の実現に努める。</p> <p>1. 環境関連の法律・省令・条例その他要求事項を遵守するとともに、自主規制・業務手順を整備し、技術的・経済的に可能な範囲で環境マネジメントの継続的改善に努力する。</p> <p>1. この環境方針達成のため、各課毎に環境目的・目標を設定し全構成員で環境マネジメントプログラムを実行する。</p>
<p>この環境方針は、社外の人にも公開しますー</p> <p>2005年3月3日</p> <p>株式会社 林 環境</p> <p style="text-align: right;">代表取締役社長 林 整</p>

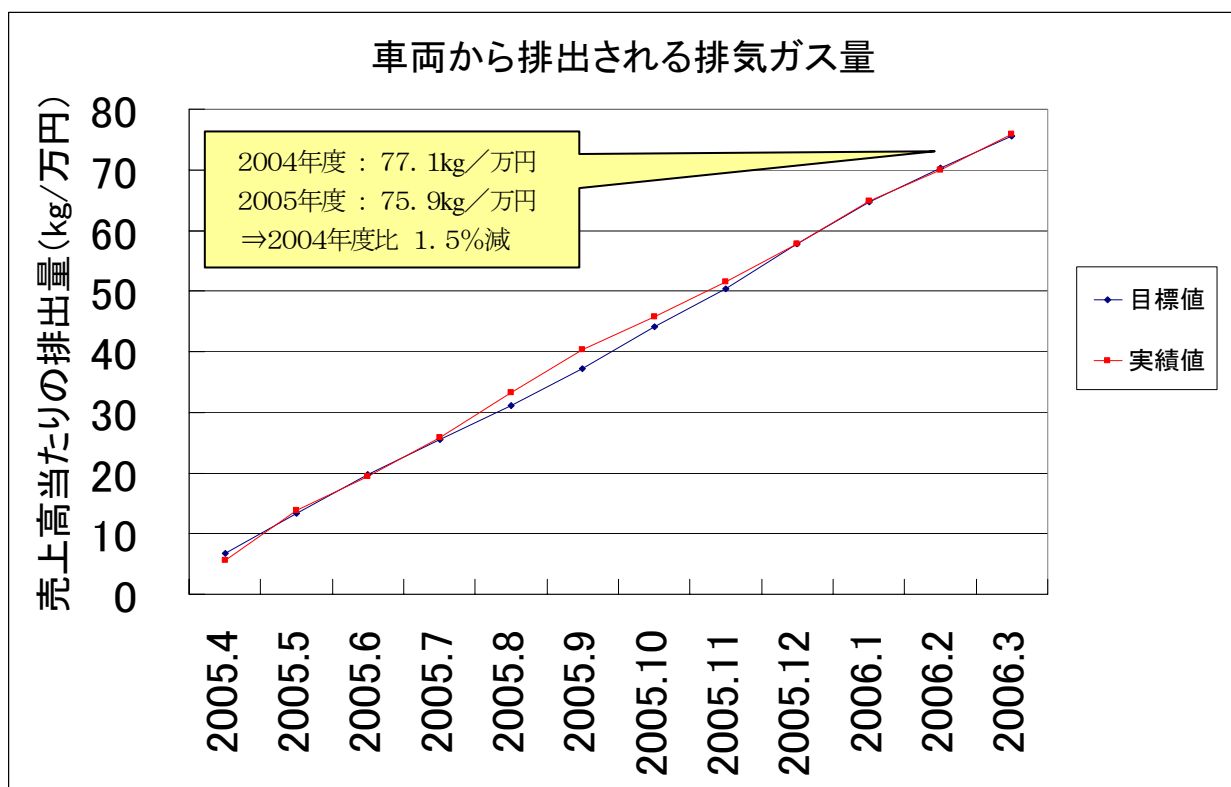
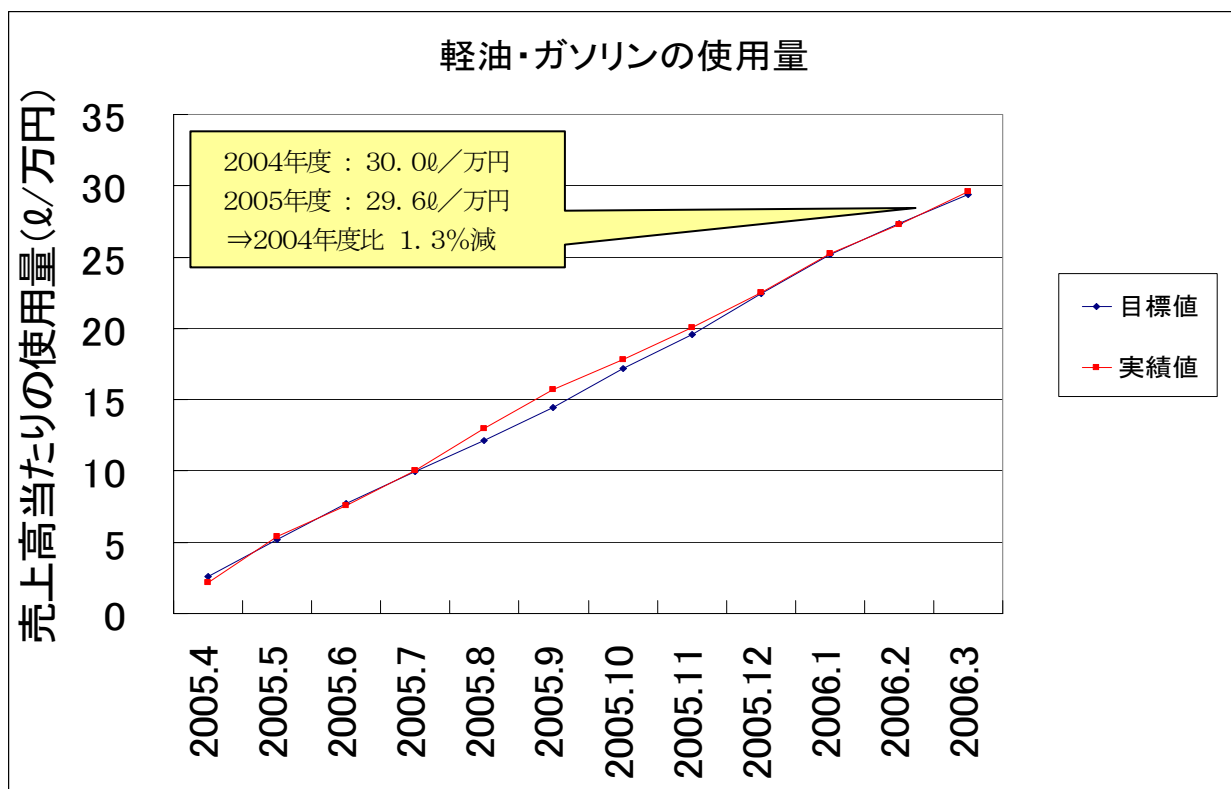
6. 環境目標・環境活動計画とその達成状況

6.1 軽油・ガソリンの使用量の把握と消費低減

総エネルギー投入量を減らし、環境への負荷を軽減するため、この総エネルギー投入量の中で割合が高い軽油及びガソリンの使用量を2004年度比で2%削減することを目標としました。これを達成するため、以下の5項目を活動項目として実施し、その達成状況は次頁のグラフのようになり、目標達成はできませんでしたが、2004年度比1.3%の削減ができました。

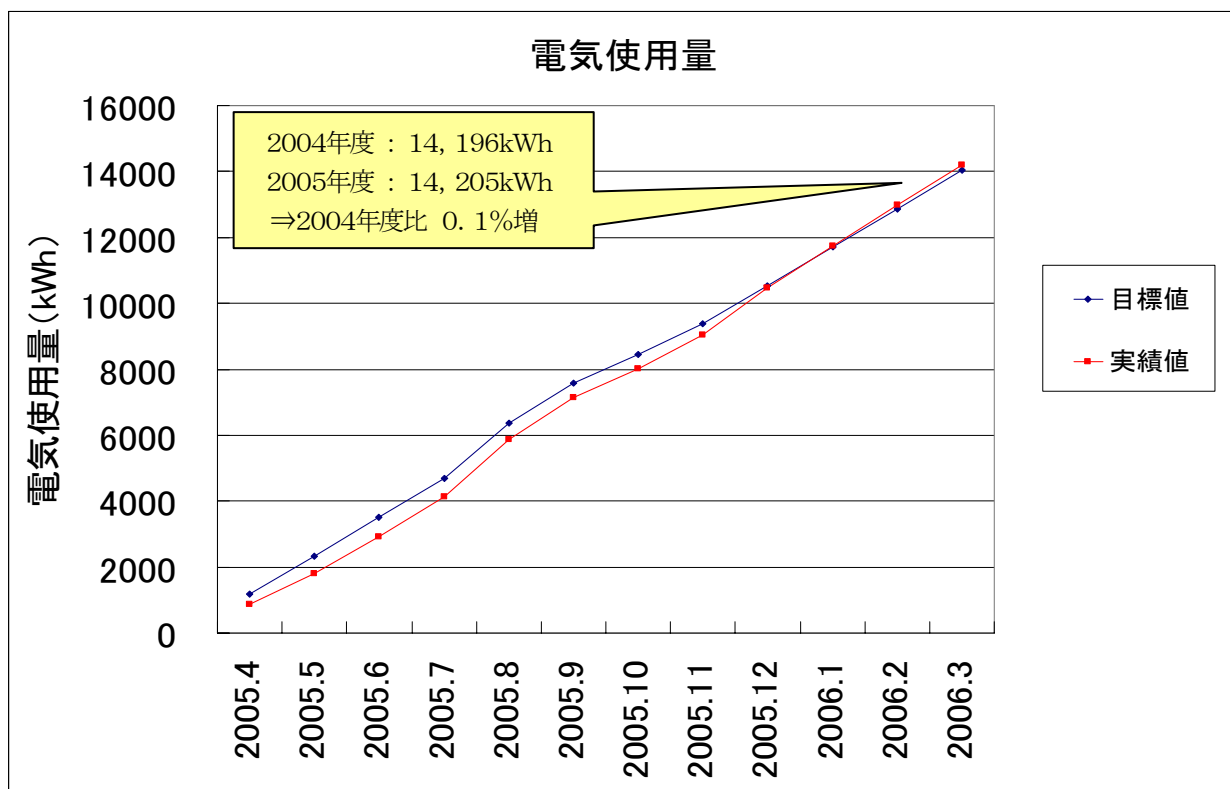
- (1) エコドライブ及びアイドリングストップの推進
- (2) 作業に関する走行ルートの見直し
- (3) 車両に合わせた収集コースの再選定
- (4) 各車両の連絡網の充実化(無線機など)による、環境に配慮した運行の推進
- (5) 車両毎の使用量の把握

また、この軽油及びガソリンの使用量の削減を通じて、車両から排出される排気ガスに対しても同様に2004年度比2%削減することを目標としました。その達成状況は次頁のグラフのようになり、軽油・ガソリンの使用量と同様に、目標達成はできませんでしたが、2004年度比1.5%の削減ができました。



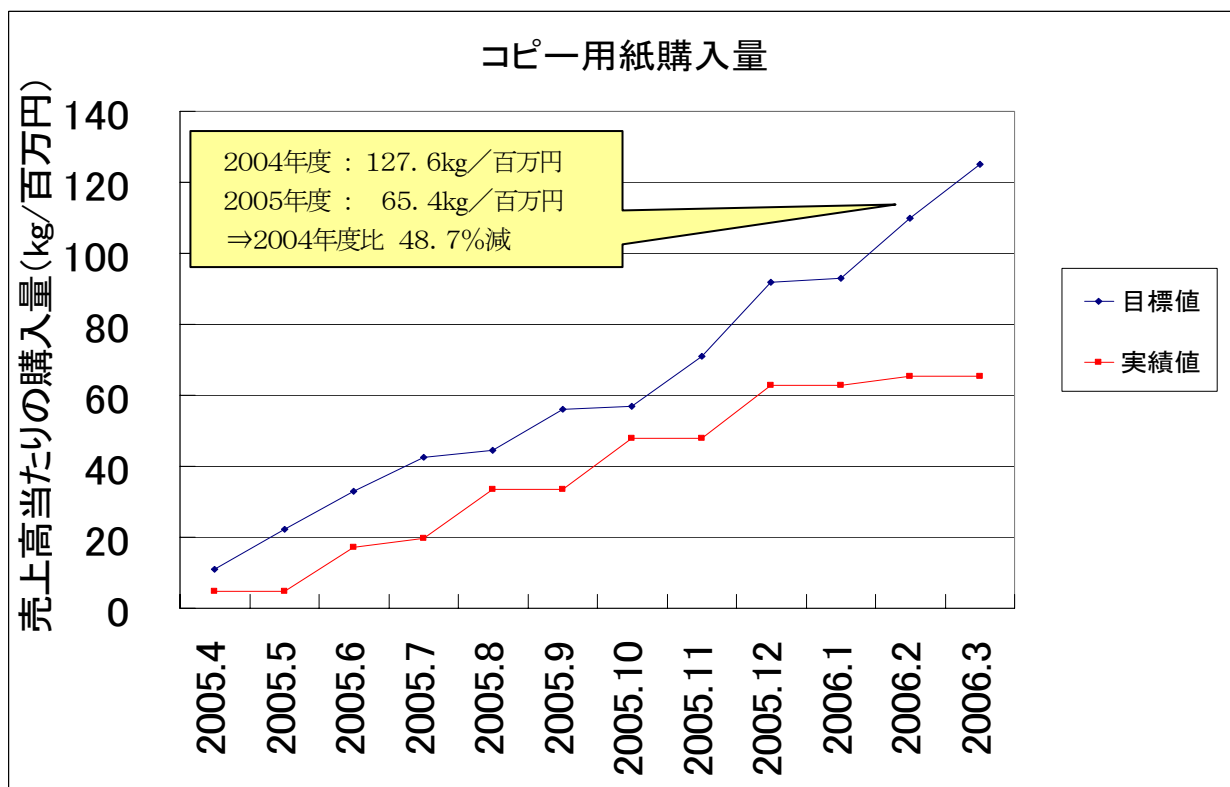
6.2 電気使用量の削減

電気使用量について、2004年度比1%削減することを目標として、クーラーの冷暖房温度の設定や、未使用場所の消灯等の節電を徹底しました。その達成状況を次頁のグラフに示しましたが、残念ながら、2004年度比0.1%の増加となりました。



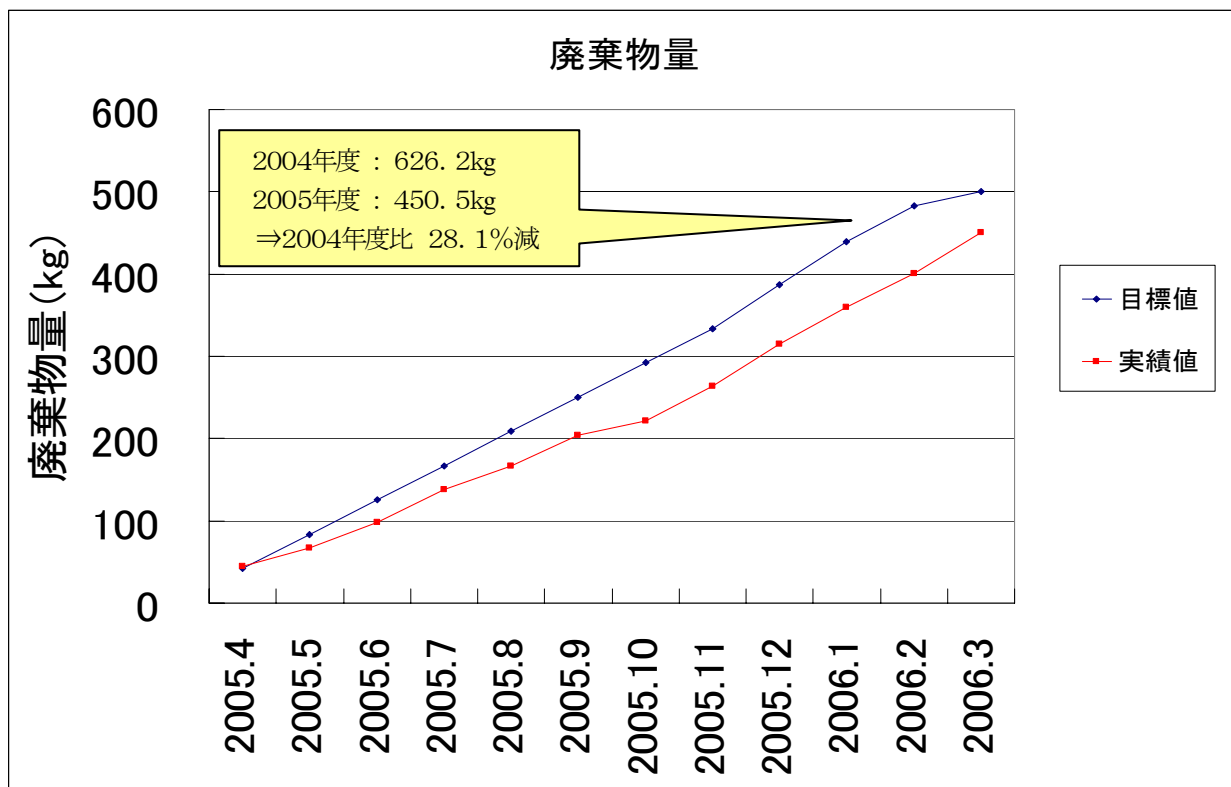
6.3 コピー用紙の使用量

パソコンによるペーパーレス化や両面コピーの促進により、コピー用紙の使用量を2004年度比で2%削減することを目標としました。その達成状況は下のグラフのようになりましたが、使用量の把握が難しいため、コピー用紙の購入量で示しました。予想以上にコピー用紙の使用量を削減できました。



6.4 廃棄物の削減

廃棄物の総排出量を2004年度比で20%削減することを目標とするとともに、廃棄物の分別及びリサイクルの徹底を推進しました。その達成状況は下のグラフのようになり、排出量の削減、分別・リサイクルが進みました。

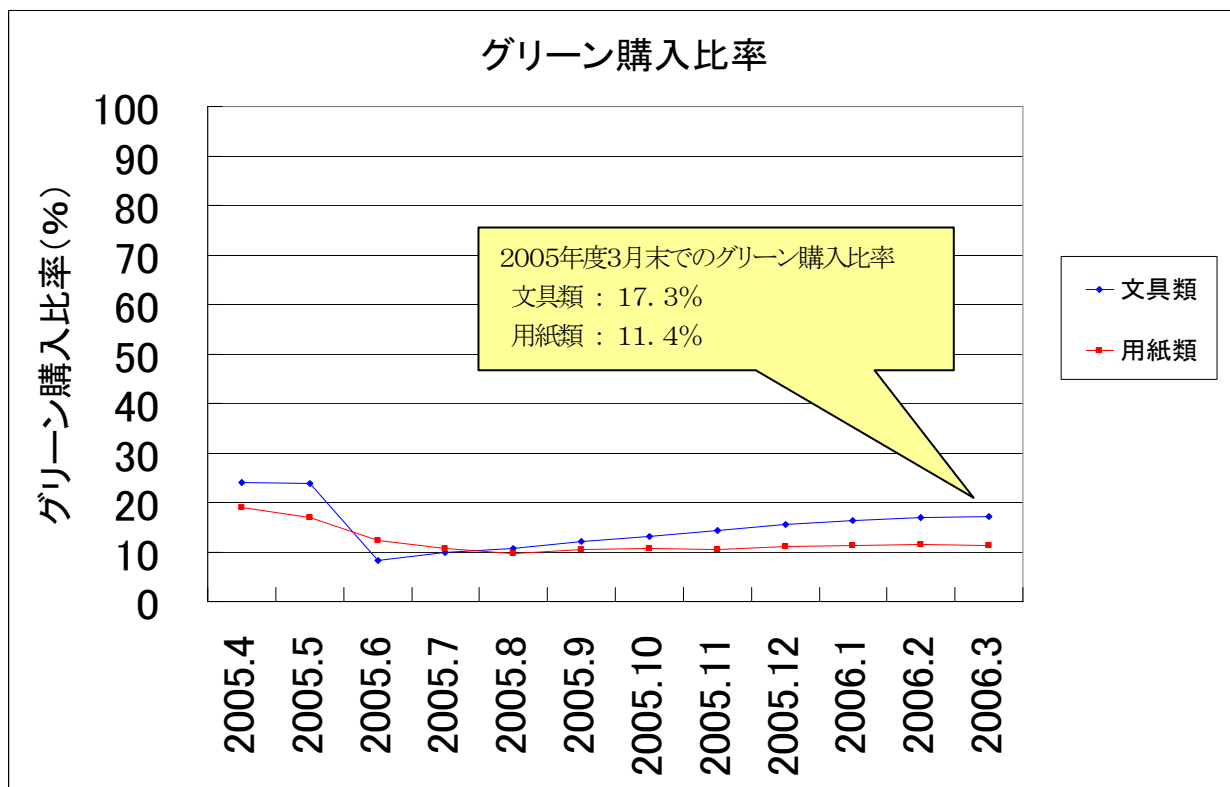


廃棄物の分別・リサイクルの状況

- (1) 可燃物・雑誌・紙パック → 桐生広域清掃センター(以下、広域センター)へ … 発電に利用
- (2) 機密書類等(シュレッダー処理された紙・色の付いた紙) → 広域センターへ … 発電に利用
- (3) 粘着物のついた紙類等(封筒・写真等) → 広域センターへ … 発電に利用
- (4) 不燃物 → 広域センターへ … リサイクル又は埋立
- (5) ビン → 広域センターへ … リサイクル又は埋立
- (6) 蛍光灯・電球 → 広域センター … リサイクル
- (7) ペットボトル → ゴミステーションへ … 広域センターでリサイクル
- (8) スチール → ゴミステーションへ … 広域センターでリサイクル
- (9) アルミ → 当社指定のリサイクル業者へ … リサイクル
- (10) コピー用紙等(シュレッダー処理していない白い紙)
 → 当社指定のリサイクル業者へ … リサイクル
- (11) 新聞紙・段ボール → 当社指定のリサイクル業者へ … リサイクル
- (12) 乾電池(市民一斉清掃の時に回収) → 清掃管理事務所へ

6.5 環境に配慮した物品等の調達及び備品等の管理

在庫管理を行うための在庫リストや調達を行う際の基準を定める基準リストを作成し、それらに基づいて環境に配慮した物品等の調達を促進することとしました。以下では当社の2005年度のグリーン購入比率についてグラフに示しました。



6.6 化学物質等の管理

浄化槽管理で使用する化学物質を保管するための専用ロッカーを設置し、在庫管理を行うとともに、責任者を任命して管理体制を構築することで、化学物質の保管や使用の状況を把握して適正な管理を行うことを徹底することとしました。化学物質の管理状況を以下に示します。ただし、実際の管理が2005年8月から開始されているので、表の数値は2005年8月から2006年3月分のみです。

	日付	pH 指示薬	DPD 指示薬	GR 試薬	硝酸銀	クロム酸 カリウム	消毒剤 (浄化槽)
保管量	8/2	500mL	150g	20g	3.0L	0g	158.9kg
移動量	-	1,000mL	100g	0g	15.5L	500g	345.7kg
購入量	-	1,000mL	0g	40g	16.5L	2,000g	240kg
保管量	3/28	500mL	50g	60g	4.0L	1,500g	53.2kg

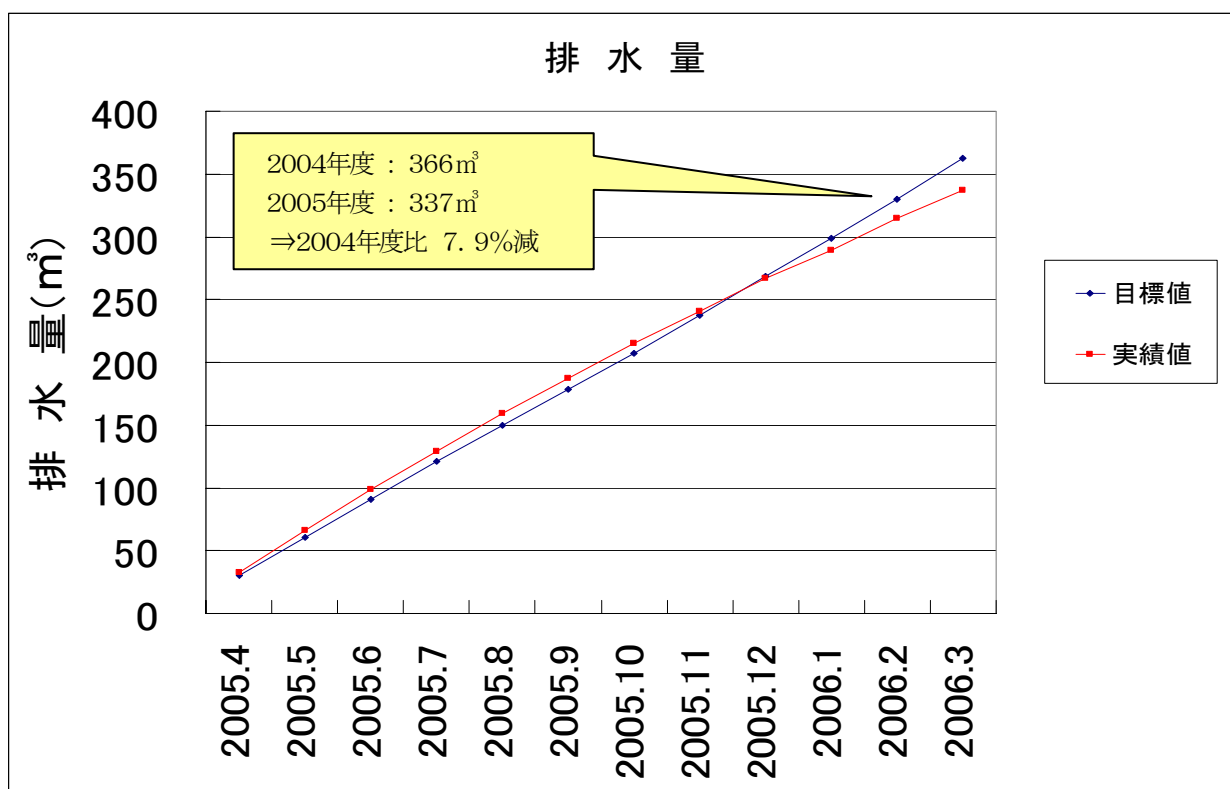
6.7 飲料水の捨水量の低減

飲料水貯水槽清掃(2槽式)において、給水バルブの事前閉栓などに取り組むことにより、貯水槽からの捨水量を減らすことを推進し、2005年12月から2006年3月までの4ヶ月間で44.5m³の飲料水を節約できました。

6.8 排水量の低減

当社で使用する水の使用量を2004年度比1%削減することを目標として、以下の5つの活動項目を実施し、その達成状況を以下のグラフに示しました。取組の開始が遅れましたが、目標を大きく達成できました。

- (1) バキューム車の水処理センター内の洗車場での洗車
- (2) 作業用手袋等をまとめて洗濯
- (3) 漏れたオイル等の排水防止
- (4) カップ等を洗うときの節水
- (5) 夏場のポットの使用個数削減



7. 環境活動の取組状況に対する評価

7.1 各四半期毎の取組状況に対する評価

(1) 第1四半期(2005年4月～2005年6月)までの取組状況に対する評価

軽油・ガソリンの使用量及び排気ガスの項目では、ほぼ目標値と等しく推移しており、これからも注意する必要があります。環境に配慮した物品等の調達が始まったばかりであることから、更なる取組が必要です。

(2) 第2四半期(2005年7月～2005年9月)までの取組状況に対する評価

軽油・ガソリンの使用量、排気ガス量及び排水量の項目で、実績値が目標値を上回り、目標を達成できていないので、対策を講じる必要があります。その他の項目は順調に進んでいます。

(3) 第3四半期(2005年10月～2005年12月)までの取組状況に対する評価

第2四半期で目標を達成できていなかった項目で、各実績値が目標値に近づき、目標達成が見えてきました。これからもこの調子を維持するように取り組んでいく必要があります。電気使用量の項目では、暖房による実績値の伸びが大きくなっているので、注意が必要です。その他の項目は、これまで通り、順調に進んでいます。

(4) 第4四半期(2006年1月～2006年3月)までの取組状況に対する評価

軽油・ガソリンの使用量、排気ガス量及び電気使用量の項目で、目標を達成できませんでした。特に、電気使用量については、冬の寒さが厳しかった為か、暖房による影響が大きいと思われます。まだまだ取組が不十分な部分もあるようなので、来年度はこのような部分の取組を徹底していく必要があります。他の項目では、取組による効果が現れ、目標を達成することができました。

7.2 内部監査結果

(1) 第1回内部監査結果(2005年7月25日～27日実施)

7月以降の評価は今回は抜きました。所感として、初めてのことで非常に難しかったです。良い点として、全体的に良く実施されていると思います。

不適合項目 … 環境目標の設定 : 排水量の削減目標、活動計画の未策定

要改善事項 … 環境目標の設定 : 二酸化炭素排出量の削減目標、活動計画の策定(一部、未策定)

※上記の不適合項目及び要改善事項に関しては、環境委員会を開催して、削減目標や活動計画などを策定し、全構成員に対して周知を行い、取組を開始しました。

(2) 第2回内部監査結果(2005年11月24日実施)

各項目は良く実施されており、大変良かったと思います。

不適合項目 … 無し

要改善事項 … 無し

(3) 第3回内部監査結果(2006年3月31日実施)

エコアクション21の認証・登録証が発行されて、大変良かったです。私達、内部監査員もこれ迄以上に頑張っていきたいと思っています。

不適合項目 … 無し

要改善事項 … 無し

7.3 代表者による全体の評価と見直しの結果

(1) 第1回代表者による全体の評価と見直しの結果(2005年10月25日実施)

- ・環境方針の変更の必要性 : 無し
- ・環境目標の変更の必要性 : ①燃料消費の低減(目標値)の再考
⇒活動内容を再検討・徹底していくことで、目標値は変更しませんでした。
②飲料水貯水槽清掃に伴う捨水量の把握及び低減策
⇒ポンプの運転時間の測定などから捨水量を把握するようにしました。
- ・環境経営システムのその他の要素の変更の必要性 : 無し
- ・社長の指示・指摘事項 : ①構成員の理解度を知らすために実施したテストの結果において、構成員の間に格差があるので再教育を要す。
⇒班ごとの勉強会・再テストを通じて、構成員の理解を深めました。
②排水量の低減の為、車両の清掃が悪化しないようにする。
⇒社員研修時に全構成員に対して注意を促しました。

(2) 第2回代表者による全体の評価と見直しの結果(2006年4月21日実施)

- ・環境方針の変更の必要性 : 無し
- ・環境目標の変更の必要性 : 無し
- ・環境経営システムのその他の要素の変更の必要性 : 無し
- ・社長の指示・指摘事項 : 無し

8. 環境関連法規の遵守状況

(1) 第1回環境関連法規の遵守状況の確認の結果(2005年8月10日実施)

- ・法律違反の有無 : 無し
- ・訴訟の有無 : 無し

(2) 第2回環境関連法規の遵守状況の確認の結果(2006年1月24日実施)

- ・法律違反の有無 : 営業報告書及び事業実績書の未提出(貨物自動車運送事業報告規則 第2条)
⇒提出漏れがありました。2008年度は必ず提出します。
- ・訴訟の有無 : 無し